

2011年度

科目名	文化財学研究指導及び演習(文化財構造論)				
担当教員	中村 浩				
配当	文修1・文博1		コード	12029	
開期	通年	講時	月曜日2限	単位数	4
授業テーマ	文化財構造論(考古学)領域の諸問題				
目的と概要	各自のあらかじめ相談して決定したテーマについて議論しながら研究を深めていく。				
成績評価法	発表(30%)とレポート(70%)による。				
テキスト	なし				
参考書	必要ならば授業中に指示する				
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	各自の設定したテーマに関する参考文献の渉猟を行っておくこと。事業中に指示された内容の復習を行うこと。 修士論文に続くように指導していきたいので、積極的な姿勢で臨むこと。				
講義計画					
各自のあらかじめ相談して決定したテーマについて議論しながら研究を深めていく。					
前期					
1回目については授業の進め方などについてガイダンスを行う。テーマの設定。					
2回目各自のテーマに沿った指導。					
3回目各自のテーマに沿った指導。					
4回目各自のテーマに沿った指導。					
5回目各自のテーマに沿った指導。					
6回目各自のテーマに沿った指導。					
7回目各自のテーマに沿った指導。					
8回目各自のテーマに沿った指導。					
9回目各自のテーマに沿った指導。					
10回目各自のテーマに沿った指導。(レポート作成を含む)					
11回目各自のテーマに沿った指導。(レポート作成を含む)					
12回目各自のテーマに沿った指導。(レポート作成を含む)					
13回目各自のテーマに沿った指導。(レポート作成を含む)					
14回目各自のテーマに沿った指導。(レポート作成を含む)					
15回目各自のテーマに沿った指導. 前期のまとめ					
後期					
1回目については授業の進め方のガイダンスおよびテーマの再検討。					
2回目各自のテーマに沿った指導。					
3回目各自のテーマに沿った指導。					
4回目各自のテーマに沿った指導。					
5回目各自のテーマに沿った指導。					
6回目各自のテーマに沿った指導。					
7回目各自のテーマに沿った指導。					
8回目各自のテーマに沿った指導。					
9回目各自のテーマに沿った指導。					
10回目各自のテーマに沿った修士論文にむけての指導。					
11回目各自のテーマに沿った修士論文にむけての指導。					
12回目各自のテーマに沿った修士論文にむけての指導。					
13回目各自のテーマに沿った修士論文にむけての指導。					
14回目各自のテーマに沿った修士論文にむけての指導。					
15回目各自のテーマに沿った修士論文にむけての指導. 後期のまとめ					